

人造真珠

earl

人造真珠の歴史は、明治末期、フランス製品を入手しその研究をしたことに始まるといわれています。「I Pearl」の愛称で親しまれている人造真珠は、現在も独特で高度な技術により生産されており、市内には国内の人造真珠生産業者の7割が集中しています。 日本人造真珠硝子細貨工業組合 ☎0725-41-2133

Imitation pearls are said to trace back to the researches of French products obtained in the late era of Meiji. Imitation pearls popular with the nickname of "I Pearl" are now produced with unique and high standards of technology, and 70 percent of domestic artificial pearl producers are within the city.

和泉市人造珍珠的历史是在明治末期开始的。据说当时从得到的法国制品研究开始的。经过多年的研究和实践，采用高度的技术，创造出自己独特的制作方法。人造珍珠作品【I Pearl】就是采用这种技术精致而成的。以【I Pearl】【爱珍珠】为主题的，表达对【爱】的深刻理解。

和泉市集中了全国人造珍珠生产厂家7成（70%）以上，在世界各地作为日本装饰品产业的标志而驰名海外。
日本人造珍珠玻璃工艺品协同组合 ☎0725-41-2133

和泉市 特産品ガイド

1 人造真珠は、ガラスやプラスチック、どぶ貝などの原玉に真珠質の塗料をかぶせて作られます。一度にたくさん製造できるよう、原玉はまとめて針金に通されます。

2 次にこの針金を何本も木枠にはめます。この木枠一枚でおよそ1400個の人造真珠が作れます。

3 塗料につける前に原玉の間隔を1つ1つ調整します。塗料で玉同士がくっつくのを防ぐためです。

4 準備が出来たら原玉を塗料につけます。この作業は"リップング"と呼ばれています。ムラが出来ないようにゆっくりと塗料につけていきます。

5 少しゆすって空気を抜いた後、ゆっくりと取り出し乾燥します。この工程は数回繰り返し行われ、輝きのある人造真珠ができあがるのです。

6 この人造真珠は、本真珠とほとんど見分けがつかないほど高度なもので、和泉市の人造真珠は"1 Pearl(アイパール)"の名称で全国の生産量のおよそ70%を占めています。また、"1 Pearl(アイパール)"は日本国内だけでなく、アメリカ、ヨーロッパ、アジア諸国など世界中に輸出されています。



ガラス工芸

glasswork

和泉市では、古くから細工加工に適した軟質ガラスを用いたガラス工芸が発達しており、ガラスの棒素地の先端を火力で溶かし、手加工によって動物や船、馬車等の置物類が作られています。長年の経験により研ぎ澄まされた感覚から作り出された作品は希少価値が高く、多くの愛好家の支持を得ています。日本人造真珠硝子細工工業組合 ☎0725-41-2133

Artistic glass handicraft using soft glass suitable for elaborate workmanship has developed in Izumi city from ancient times. Glass is manufactured into ornaments like animals, ships, coaches, etc. by melting glass bars with flames and working them with hands. Works created through well-sharpened senses with long years of experience have high rarity value and gained support from many devotees.

和泉市从古代起玻璃工艺品制造就很发达。制作方法是用适合精细加工的软质玻璃 先制成玻璃棒原料，把玻璃棒捆成一束，把一端放在活力熔化，用手工做出动物，船，马车等摆设物品。只有经过多年的实践及磨练才能掌握玻璃的特性，利用微妙的光的曲折原理才能制作出寓意深远的作品。在现代社会，物以稀为贵，和泉玻璃工艺品，做为高级室内装饰品而深受生活用品爱好者及收藏家的喜爱。日本人造珍珠玻璃工艺品协同组合 ☎0725-41-2133

和泉市 特産品ガイド

1 ガラスの主原料は、炭酸ソーダ、石粉(いしこ)、鉛。これにガラスに色をつけるための材料を混ぜ合わせて作ります。原料の比率を変えることによって、硬さや透明度などガラスの持つ性質を少しずつ変えることができます。



2 混ぜ合わせた原料をるつぼの中に入れ、400度から1300度の熱でおおよそ12時間かけて溶かし鉛状にします。真っ赤に溶けたガラスは、「ポウトウ」という長い鉄の棒で巻き取られます。



3 巻き取ったガラスの形を「レン」と呼ばれる鉄製のボールで整えながら、さらに溶けたガラスを巻き付け大きくしていきます。

4 「ガラスを引く」という工程に移ります。巻き取ったガラスを「レン」と呼ばれるレール上に棒状に引き伸ばしていきます。



5 ガラスの温度が急激に変化するため、一気に引き伸ばさなくてはなりません。職人さんの腕の見せ所です。

6 1回の工程で10m以上の細長いガラスができます。これをヤットコで一定の長さに切りそろえ、ガラス細工の生地ができあがります。



7 先ほどのガラス生地を使って、ガラス細工をしているところです。この作業は「バーナーワーク」と呼ばれます。



8 こちらは「網の目ガラス細工」と呼ばれる伝統工芸です。しばらくこれを作れる人はいなかったようですが、最近復活しました。



和泉木綿

cotton

泉州産の綿スフ織物の歴史は古く、室町時代に綿の栽培をおこない白木綿を製織したのが始まりとされています。江戸時代には「和泉木綿」の名で広く日本国中に知れわたり、国内の中心的な綿業地帯を形成するに至りました。現在も多岐多様な品種が製織されています。 泉州織物工業協同組合 ☎0725-41-0124

Senshu-produced cotton staple-fiber textile has a long tradition, starting with the production of plain wood cotton cultivated in the era of Muromachi. In the era of Edo, the product was widely known throughout Japan under the name of "Izumi Cotton", coming to form a central cotton-producing area in the country. A wide variety of cotton products are now being produced.

大阪泉州の棉织物は起源于平安时代。据说在平安时代弘法大师空海作为遣唐使出使唐朝，（现在的中国）从唐朝带回棉花种子并在此地播种，从此棉逐渐渗透到日本人民的服装生活里。从江户时代开始「和泉棉」便众所周知，家喻户晓了。

在现代社会里，泉州棉以生产服装衣料为主，在寝具家居用棉制品及工业原料，卫生材料等各行各业，生产成各种各样的产品而被广泛应用。同时，也作为出口海外市场和保证国内供给的基地发挥了极大的作用。

泉州织物工业协同组合 ☎0725-41-0124

1 綿の実(コットンボール)

ふわふわとした綿毛の回転(撚り)を与えながら引っ張ることで糸になります。



2

サイジング(糊付)

織物のタテ方向の糸を準備する工程です。数百本から1万本超の糸を並べ(整径)、糸に強度を持たせ、織りやすくするために糸に糊付(サイジング)をします。



3

製織

上下に2分されたタテ糸の間にヨコ糸を走行(往路)させ、次に上下のタテ糸を入れ替えてヨコ糸を走行(復路)させることでタテ糸とヨコ糸を交差させて織物が出来上がっていきます。



4

検反

織り上がった反物に、傷や汚れなどが無いか一反づつ検査し、晒工場へ出荷します。



5

加工

晒した反物を用途目的により加工(注染・染色加工等)します。



6

製品

出来上がった和泉木綿は、ゆかた、手拭等の商品として出荷します。

■ 特産品に関するお問い合わせ先

財団法人 和泉市産業・観光振興会

〒594-8501 大阪府和泉市府中町二丁目7番5号

☎0725-41-1551 (和泉市 商工観光課内)